

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月12日

計画の名称	西広島駅へのアクセス向上と安全な歩行空間の整備													
計画の期間	令和02年度～令和04年度（3年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	広島市													
計画の目標	西広島駅周辺地区において、自由通路整備及び駅前広場整備を行うことにより、JR山陽本線によって分断されている南北の地区の分断解消及び円滑な交通処理を図る。 また、バリアフリー対策により自由通路、公共交通機関相互の乗り継ぎのための経路などを安全かつ快適な歩行空間とするとともに、踏切利用から自由通路利用への転換を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		3,390	A	3,300	B	0	C	90	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	2.65	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26		R4及びR6
1	自由通路の1日当たりの利用者数を21,000人/日とする。			
	自由通路の利用者数 【最終目標値＝既存調査から推計】	0人/日	人/日	21000人/日
2	自由通路利用により駅最寄の踏切（己斐本町踏切、己斐中踏切）の歩行者交通量を3,179人/日から2,300人/日に減少させる。			
	踏切の歩行者交通量を調査 【最終目標値＝既存調査から推計】	3179人/日	人/日	2300人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	西広島駅南北自由通路（ 1工区）	自由通路 L = 0.08km	広島市	■	■	■			3,071		-
	A01-002	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	西広島駅南北自由通路（ 2工区）、西広島駅南口 駅前広場	自由通路 L =0.03km、駅前広 場再整備 A = 1,590㎡	広島市	■	■	■			229		-
											小計						3,300		
											合計						3,300		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	施設整備	西広島駅南口駅前広場	駅前広場再整備 A = 1,590㎡	広島市	■	■	■			90		-
		ＪＲ西広島駅南口駅前広場（A01-002）と一体的に整備することで、歩行空間のバリアフリー対策を行う。																	
											小計						90		
											合計						90		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

道路交通局交通施設整備部交通施設整備担当で評価を実施

事後評価の実施時期

令和7年3月

公表の方法

広島市HP

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

駅の北口と南口を繋ぐ自由通路を整備したことで、踏切を通らずにJR山陽本線を安全に横断できるようになり、JR山陽本線による南北の地区の分断を解消した。また、エレベーターの整備等のバリアフリー対策により、自由通路及び公共交通機関相互の乗継のための経路などを安全かつ快適な歩行空間とし、踏切利用から自由通路利用への転換が図られた。さらに、南口駅前広場の再整備では、バス、タクシーの乗降場等の再配置などにより、乗換利便性の向上や円滑な交通処理が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

なし

○特記事項（今後の方針等）

西広島駅周辺地区において、区画整理事業による北口駅前広場及びアクセス道路の整備などを行っており、引き続き交通結節点機能の強化を図る。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	21000人/日	新型コロナウイルス感染症による駅利用者数への影響が残っていることや西広島駅北口区画整理事業が継続中であることから目標数値に達していないものの、今後、駅利用者数の回復や区画整理事業の完了に伴い、効果が発現していくことが期待される。
	最 終 実績値	16066人/日	
2			
	最 終 目標値	2300人/日	目標を達成した。
	最 終 実績値	2191人/日	